

DAIWAへらチョウチンバトル 2015

2015年10月31日(土) 於 羽生吉沼 参加者 172名



枯法師クラシック・長竿バトルと恒例になったダイワ秋のへらイベント。今年は、今、主流になりつつある「チョウチン釣り」にフォーカスした「ダイワへらチョウチンバトル 2015」。またたくまに定員の150名をオーバー。当日は172名の参加を得、3棧橋(赤城 富士 榛名)満タン状態。釣座はくじでの当て番性とした。

大会10日前に大型2tの放流 魚は池全体に散ったとのこと。ただ、ゲンと冷込んだ朝、これが気にかかる。7:15 競技スタート。大会のハイプレッシャーにさすがに竿の立ちは遅い。攻め方は短竿のセット 長竿の両ダンゴに分かれたようだ。

予報に反し気温は一向に上がらず、むしろ冷えてきた感じ。事務所の釣果集計表も時間を追うごとにカウントは伸びてはきているが、飛びぬけて走る選手はいない。一枚釣るごとに順位が目まぐるしく変わる展開だ。

棧橋に足を向ける。皆さん苦悩している。両ダンゴ組はセットに切り替え始め、完全に冬の時合だ。「魚は居るんだよ けど食わない 急に冷えたからね 寒い～」と言う方が多い。確かにウキは動いているが決めアタリが出ていない。ハリスは皆さん必然的にロングに・・・

11時一斉休憩に入る。この暫しのブレイクが池全体をやんわりとした雰囲気にする。トップは10kg/15枚程度。上位30名位 ほぼ差のない展開。痺れる。ここで新荒法師武天を筆頭に現行ダイワへら竿のレンタルも

開始。多くの方に午後の戦いと竿の試釣を兼ねお借りいただいた。

ここで途中経過を放送する。「差はない！まだまだいけます！！」と折れそうな心を鼓舞してみる。

11時40分競技再開

続く食い渋りの状態。底釣でもやれば釣れるだろう。ただ・・あくまでも縛りは「チョウチンの宙」。徹するしかないのだ。小雨も降り出した。

拾い釣りの中、釣れてくる魚はさすがに大きく重量がドンとす。残り1時間・・このあたりで優勝ラインは20kg 25枚のラインが見えてきた。大型揃いで桁違いの釣果の出る同池としては全く希有な釣況なのだ。20名位の方が今だ混沌としている。

薄日が差してきた14:00 終了のホーン！ 「ふうっー」という溜息が木霊した。

さて結果は・・・

上位入賞者ははからずも10尺～チョイ深めのタナをセットで粘り強く攻めた選手に凱歌が上がった。

成績表彰、お楽しみ抽選会と和やかな時間を過ごし閉幕となった。

季節を通り越した寒さと予想外の食い渋りの中、最後まで粘り強く真摯に闘っていただいた皆様のへら師魂に心より感謝致します。

尚 今回の参加費の一部を先の台風で甚大な被害にあわれたへら師にもなじみ深い地域の支援として「平成27年度台風18号等大雨義援金」に日本赤十字社を通して寄付いたしました旨ご報告申し上げます。



順位	氏名	フリ仮名	合計 kg
優勝	久保田 剛志	クボタツヨシ	18.61
準優勝	青木 和春	アオキカズハル	17.04
3位	百合草 大貴	ユリクサダイキ	16.84
4位	内田 節夫	ウチダセツオ	15.31
5位	斉藤 宏一	サイトウヒロカズ	14.76
6位	浜野 進彦	ハマノブヒコ	14.17
7位	押山 俊一	オシヤマシュンイチ	13.82
8位	石川 敬臣	イシカワヨシタミ	13.21
9位	福井 正樹	フクイマサキ	11.69
10位	加藤 哲也	カトウテツヤ	11.17
11位	三上 祥昭	ミカミヨシアキ	11.15
12位	星野 智明	ホシノモアキ	11.04
13位	細井 昭宏	ホソイアキヒロ	10.99
14位	吉野 一茂	ヨシノカズシゲ	10.61
15位	黒田 哲也	クロダテツヤ	10.17
16位	西山 隆広	ニシヤマタカヒロ	10.14
17位	関 保雄	セキヤスオ	9.89
18位	宮下 晴之	ミヤシタハルユキ	9.67
19位	戸倉 修	トクライサム	9.55
20位	佐々木 春樹	ササキハルキ	9.38